

環境

提案・意見

〇〇町の消毒液の配布の廃止

〇〇町では、どぶ掃除のたびに消毒液を配布している。組長が消毒液を廃棄用のびんに入れ、各戸配布している。組長が消毒液を分けて入れ、それぞれの家に配るのは大変である。消毒液を排水溝に流しても効果があるとは思えない。〇〇町の役員、組員も一生懸命やっており、やめるとは言えない状況である。あまり効果がないことであり、役員、組長の負担も大きい。しかし、一生懸命やってもらっているので、一般家庭から言いにくい。伊勢市長からこのような声があることを伝え、〇〇町に廃止を提案していただきたい。

回答

いただいたご意見は自治会へお伝えしましたが、薬剤配布は自治会独自の取り組みですので、市から自治会へ廃止の提案をすることは差し控えさせていただきます。

担当課

環境課（2017年8月回答）〔8/26～9/1〕

環境

提案・意見

勢田川へのEMだんごの散布について

小学生による勢田川へのEMだんごの投入を、伊勢市では取り組まれていると思いますが、EMだんごは科学的に効果がないもの（疑似科学やニセ科学と呼ばれているもの）として、多くの研究者から批判されているものではないかと思います。公費を科学的なエビデンスに基づかない環境対策に用いてよいのでしょうか？また、科学的に効果がないものを、教材として小学生に対する環境教育に利用してよいのでしょうか？

回答

平成24年度から伊勢市内の市民団体が啓発活動の一環としてEM団子を作成し、有蓮橋付近に投入しています。また、市民団体の呼びかけにより、伊勢市立有緝小学校に協力していただいています。

伊勢市としてもEM菌については、種々ご意見ありますことを認識しておりますので、市民団体、小学校へ向けて環境に悪影響のないような、よりよい教材を検討するように伝えます。

担当課

環境課（2017年8月回答）〔8/26～9/1〕

防災

提案・意見

防災無線

前回の回答は解答になっておりません

現地で防災無線放送を確認しましたところ、若干聞き取りにくいことがわかりました。

防災行政無線拡声子局（スピーカ）は、現在、市内に287箇所を設置しており、設置場所や周囲の建物状況、風向き、天候などにより、聞き取りにくい場所もございます。また、この拡声子局（スピーカ）は、市内全域をカバーできるような音域等を考慮した上で配置しているため、再配置を行うことが難しい状況となっております。

市は市民の皆さんに災害情報等を防災行政無線放送のほか、防災メール、電話サービス、ケーブルテレビの文字放送、FAX等で伝達しています。

以上のことから、防災行政無線放送が聞こえにくい場合は、これらのサービスに登録していただくなど、様々な方法で情報を取得していただき、災害に備えていただきたいと考えておりますので、ご理解よろしくお願いいたします。

上記のことならば防災無線でどれだけのお金をかけて設置したのですか？それならば個人で遣れと言われるならばその費用を全市民に返してください役にたたない防災無線ならばやる必要なし

回答

屋外拡声器を用いた防災行政無線の放送は、気象条件や周囲、ご自身の建物の状況により聞こえ方がさまざまです。

伊勢市では、防災情報をお伝えする方法は、屋外拡声器によるものにも限界があると考え、登録いただいた方には携帯電話へのメールやFAX配信、ケーブルテレビへのL字放送など、市民の皆様の状況に応じた情報の取得などについてお願いしています。

このようにさまざまな方法により防災情報をお伝えしておりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

担当課

危機管理課（2017年8月回答）〔8/26～9/1〕

教育

提案・意見

年度区切りの閲覧ページ改善

昨日8月28日（月）午後5時半に小俣支所の教育委員会に伺いましてチラシ配布の協力をお願いしたところ、後援名義使用許可が出ていないと追い返されました。本日電話があり、話しの内容を要約すると「昨年度の申請であったため後援名義使用許可が見つけれなかった」とのことでした。年度区切りを止め申請中の後援名義使用許可はすぐ見つかる様改善をお願いします。小俣まで伺った時間および労力又内の事務局の労力が全て無駄になりました。

回答

このたびは、後援名義使用承認の件に関しまして、大変なご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございませんでした。

過去の経過を調べるにあたっては、年度をまたぐケースがあることを考慮する必要がありましたが、不注意により見落とす結果となってしまいました。大変不愉快な思いをさせてしまいましたことを深くお詫び申し上げます。

ご提案のありましたとおり、今後のデータ管理につきまして、年度で区切るのではなく、区切りのない状態に改めることで、再発防止を図ってまいります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

担当課

社会教育課（2017年8月回答）〔8/26～9/1〕

その他

提案・意見

消防の駐車場について

先日消防職員の方が、大きな荷物を引きずるようにして通勤しているのを目にしました。聞いた話では、遠くの駐車場に車を止めて通勤しているそうです。

私のような一般市民から見れば、庁舎の前に立派な、いつ行ってもガラガラに空いている駐車場があるではないか。と思うのですが、国の土地だから止めてはいけないそうです。

新庁舎建設の計画の時から駐車場がないのはわかっていて、こんなことになるのは、わかりきっていたのに市は何もしてくれなかったそうです。

周りに公共交通機関もなく、借りられる駐車場もない。今借りている駐車場もいつ解約されるかわからないので、そうなった時のことを思うとどうやって通勤しようか不安になるそうです。

消防には、代勤制度というのがあり、休みが出て人数の少なくなったところへ多いところから勤務しに行くそうです（代勤）その時は、24時間勤務なので着替えや食事の材料など泊りの準備と支給されている防火服を持つと大荷物になり、移動するためには単車や自転車では移動できず車が必需品になるそうです。

そこで、前の駐車場を市が購入してはどうでしょうか。いつも空いているのだから、普段は止めさせてもらって、何かイベントのある時だけ車禁止にすればいいと思います。その時は、送ってもらうなりタクシーを使うなりして、通勤すればいいと思います。そう頻繁にあるわけではないから消防職員も我慢するでしょう。

購入するには、税金がいるというのなら、市の土地と交換するとか、高速道路方式で受益者負担にして駐車料金を徴収して元が取れば無料にするとか、いろいろ金のかからない方法はあると思うのですが、政治力で何とかありませんか。

そして、購入してしまえば、数十年後に必ず起こるであろう建て替え問題も土地に困らず遷宮方式で何年でも安心して建て替えられると思います。

将来の市のためにも購入を本気で考えてみてはいかがでしょうか。

回答

日頃は、消防行政にご理解、ご協力いただきありがとうございます。
職員駐車場につきましては、消防本部庁舎が倉田山公園内に位置しており、庁舎前については公園利用者に必要な駐車場であることから、職員駐車場とはしていません。

そのことから、庁舎より徒歩6分450mの場所に、職員駐車場を借り入れている状況です。

ご指摘の消防職員には勤務の都合により、署所間を移動することがあり、それに伴い防火服等の荷物の移動が必要となりますが、その際には、庁舎前の消防専用駐車スペースに駐車し、荷物の積み下ろしを行っているところです。

また、消防本部庁舎の周辺の公共交通機関としては、徒歩21分1.7kmのところ、近鉄五十鈴川駅があります。

このたびは、貴重なご意見ありがとうございました。

担当課

消防本部総務課（2017年8月回答）〔8/26～9/1〕

その他

提案・意見

ガードマンについて

ガードマンの人が車によってきてまで、車のドアをガチャ×2してあげようとした。説明しようとしてくれたのはわかるがすごくふゆかしいです。二度とされたくないです。ガードマンはさいていです!!

回答

平素は市政にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。
警備員に対しましては、委託業者を通じ、改めて指導いたしましたので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

担当課

管財契約課（2017年8月回答）〔8/26～9/1〕